

令和二年度

子ども会育成だより

上田市子ども会育成連絡協議会

第51号
11月30日発行
編集・発行
上田市子ども会
育成連絡協議会

コロナプスの卵

上田市子ども会育成連絡協議会
会長 竹田 裕美



昨年に引き続き上田市子ども会育成連絡協議会(市子連)会長を務めさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度はコロナ禍のため例年のような活動ができない中、各地域の育成会長をはじめ育成指導者の皆様におかれましては、地域の子どものために「それでも何かしてあげられないか?」と思慮され、それぞれのお立場で様々なご苦労をいただいておりますことに敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

さて、夏の報道では川での水難事故が多かったように感じます。川はどこにでもある身近なレジャースポットですが、身近にあるにも関わらず本場の川の姿を知らない人が多いと改めて考えさせられました。

私たち市子連では毎年、川に入つて遊ぶ自然体験活動を行っております。実際に川に入つてみると、水の勢いや強さ、歩みにくさ、深みの恐怖といった川の本当の怖さを体感できます。怖さを知ること安全への正しい判断ができます。体験というのは本当に素晴らしいものです。

その川の自然体験も恒例のキャンプも、コロナの影響、また昨年の台風災害により例年通りの開催ができなくなりましたが、そこで立ち止まることはせず、新しい生活様式の中で「何をすればどこまでできるか」と、みんなで検討を重ねて実施したのが「浦野川で遊ぶう学ぼう」です。

高校の地学教諭・鈴木先生と、河川の生態学などが専門の長野大学高橋教授がこの活動の意義にご賛同くださり、浦野川での化石発掘と水中生物観察体験会を開催することができました。

両先生をはじめ「すべては子どもたちのために」と、開催にご尽力をいただきましたすべての皆様に改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

これからも、新しい生活様式に合わせた新しい育成会活動のモデル事業を、手探りではありますが展開していきたいと思っております。

ブロック別交流会を 市内8会場で開催しました

初の試み!!

新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、西部・城南・神川・上野が丘・塩田・真田の各公民館、丸子文化会館・駅前ビルパレオの8会場において、日頃ご苦労をいただいている育成会長の皆さんとのブロック別交流会を行いました。

各会場では、正副会長が進行及びまとめ役としてグループに加わり、育成会長の皆さんに工夫を凝らした活動や、現状の不安やお悩みを話していただき、意見交流を行いました。

上田地域選出 市子連副会長 松田 真二

(城南公民館 塩田公民館参加)

多くの育成会では予定した事業を中止していましたが、中には工夫を凝らしての開催もあり、その内容に真剣に聞き入っていました。

3密を避けるため、日時をずらしての芋掘り大会、参加者が集合しないで各自宅周辺だけ行うゴミ拾い活動等、他にも様々な活動が行われていたようで、その情報を共有したいとの要望もありました。

武石地域選出 市子連副会長 舟木 茂行

(丸子公民館・城南公民館参加)

各ブロックとも、行事の中止や内容を変更して実施するなど、育成会長が考え、いろんなところで調整されるなど御尽力されていきました。「子どものために」創意工夫されている活動が今後に繋がると感じました。個人的に他の育成会活動を知る機会となり、参考になることばかりでした。

丸子地域選出 市子連副会長 金井 成人

(丸子公民館・神川地区公民館参加)

丸子ブロックでは、市子連への参加ができて良かったです。丸子地域での参加育成会が増えたらいいねの話や、情報交換もしながら交流していき

いと確認しました。

神川地区で参加したグループでは、PTA会長さんが育成会長をされている方が多く、初めての役員でありながら、この状況で例年計画している活動ができずに辛いとの意見が多く挙がりました。それでも、登山や焼き芋、ボーリングなどできることや方法を話せたのは良かったと思います。

真田地域選出 市子連副会長 坂口 純一

(真田中央公民館・西部公民館参加)

ブロック交流会は、今年度が初の取り組みですが、コロナ禍で理事会の開催も出来ずにいたので理事・育成会長の皆さんとお会いできる機会を設定してくれた事務局に感謝します。

各ブロックの今年の活動が開催できていない現状を共有したのち、皆さんの意見交換の中で、3密を避けた中で、どのようなことができるのだろうと前向き意見が自然と出てきていたのが印象的でした。

子どもを一か所に大勢集める必要のないハロウィンイベント、マスクをしながら大声を出さなくともコミュニケーションが取れる手話講座など、自分にとっても楽しみながら良いアイデアをたくさんいただくことができました。

神川地区



真田地区



豊殿・神科地区



丸子・武石地区



塩田地区





浦野川で遊ぼう学ぼう!!

のびのび川遊び体験教室

上田市子ども会育成連絡協議会・信州上田千曲川少年団共催事業
のびのび川遊び体験教室「浦野川で遊ぼう・学ぼう」を開催しました!!!

秋風が心地よい9月19日(土)のびのび川遊び体験教室「浦野川で遊ぼう・学ぼう」を開催しました。
 今年は、弓崎神社周辺(上田市小泉)の浦野川で、クジラの化石が発掘されたこともあり、貴重な資源をからだで感じ、学ぶ機会にしようとして「クジラの化石見学・発掘体験」と「水中生物観察体験」の二つの体験を行いました。

クジラの化石見学・かつて上田は海だった!?!
 「ウエダアカボウクジラ」と命名された、約千三百万年前に生息したクジラの大きな化石にビックリ!?



水中生物観察
 講師の先生から生物の捕獲方法を教えてもらい、いざ川の中へ。
 川底は、ヌルヌルと滑りやすくバランスを取りながら網を使って生物を捕獲。
 大人も子どもも夢中で捕獲し、先生に報告、名前や生態を教えてくださいました。

浦野川で化石発掘体験
 川底から石を拾い出し、トンカチを使って叩いていくと、何やら化石らしき発見がいくつもありました。
 今回のように全身骨格での産出は極めて珍しいそうです。
 化石を削り出す作業中には、ウエダアカボウクジラと同じ時代の貝や魚の化石も発見されていたとの説明を聞き、参加者みんなで実際に石を割って化石探しに夢中になりました。



編・集・後・記

日常が大きく変化する中、育成会長の皆様は、たくさん不安、悩みを抱えてこのスタートと なってしまいました。通知をお送りすることはかりで申し訳ありませんでした。
 そんな中、9月にはブロッコリー交流会を開催し、各地域で育成会長の皆さんとお話することができたことで、やっと子連らしい日常が戻ってきたと安堵しています。
 顔を合わせ、会話することの大切さ、安心感を改めて実感するとともに、今後も新型コロナウイルス感染症と付き合いつながら、できることを精一杯頑張りたいと思います。(事務局)



後期育成会活動における

各地域の育成会活動を行う上で参考にしたいと、感染症対策の資料を送付しました。
 冬季は、インフルエンザの感染も併せて注意が必要になります。
 行事を行う際には、育成会長を中心に行事に関わる皆さんで対策を徹底し活動いただきますように、よろしくお願い致します。